福岡県米麦大豆生産改善速報 第５号

令和４年１０月４日
福　　岡　　県
福岡県米麦品質改善協会

大豆の生育概況と今後の対策

１．気象経過［太宰府アメダス］

	７月 11 日～９月 20 日（71 日間）				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本　年	28.0	32.9	24.3	360	597
前年差(比)	＋1.1	＋1.2	＋0.9	107%	42%
平年差(比)	＋1.2	＋1.4	＋1.0	93%	108%

２．農林業総合試験場における大豆の生育概況

７月 11 日～９月 20 日の平均気温は平年に比べて 1.2℃高く、日照時間は７％少なく、降水量は８％多く、寡照・多雨で経過した。

フクユタカでは、７月 11 日播の開花期は平年（７月 10 日播）に比べて２日遅かった。９月 20 日時点の生育調査の結果、平年に比べて主茎長は同等、主茎節数は 0.7 節少なく、莢数は８％少なく、地上部乾物重は 6%重かった。また、台風 14 号による強風の影響により倒伏程度は中となった。

７月 26 日播の開花期は平年（７月 24 日播）に比べて２日遅かった。平年に比べ、主茎長は８％短く、主茎節数は 1.2 節少なく、莢数は８％少なく、地上部乾物重は４％重かった。倒伏程度は中～多であった。

ちくしＢ５号はフクユタカに比べて、いずれの播種時期でも主茎長がやや短く、倒伏程度が小さかった。乾物重や莢数はフクユタカ並みに確保されている。

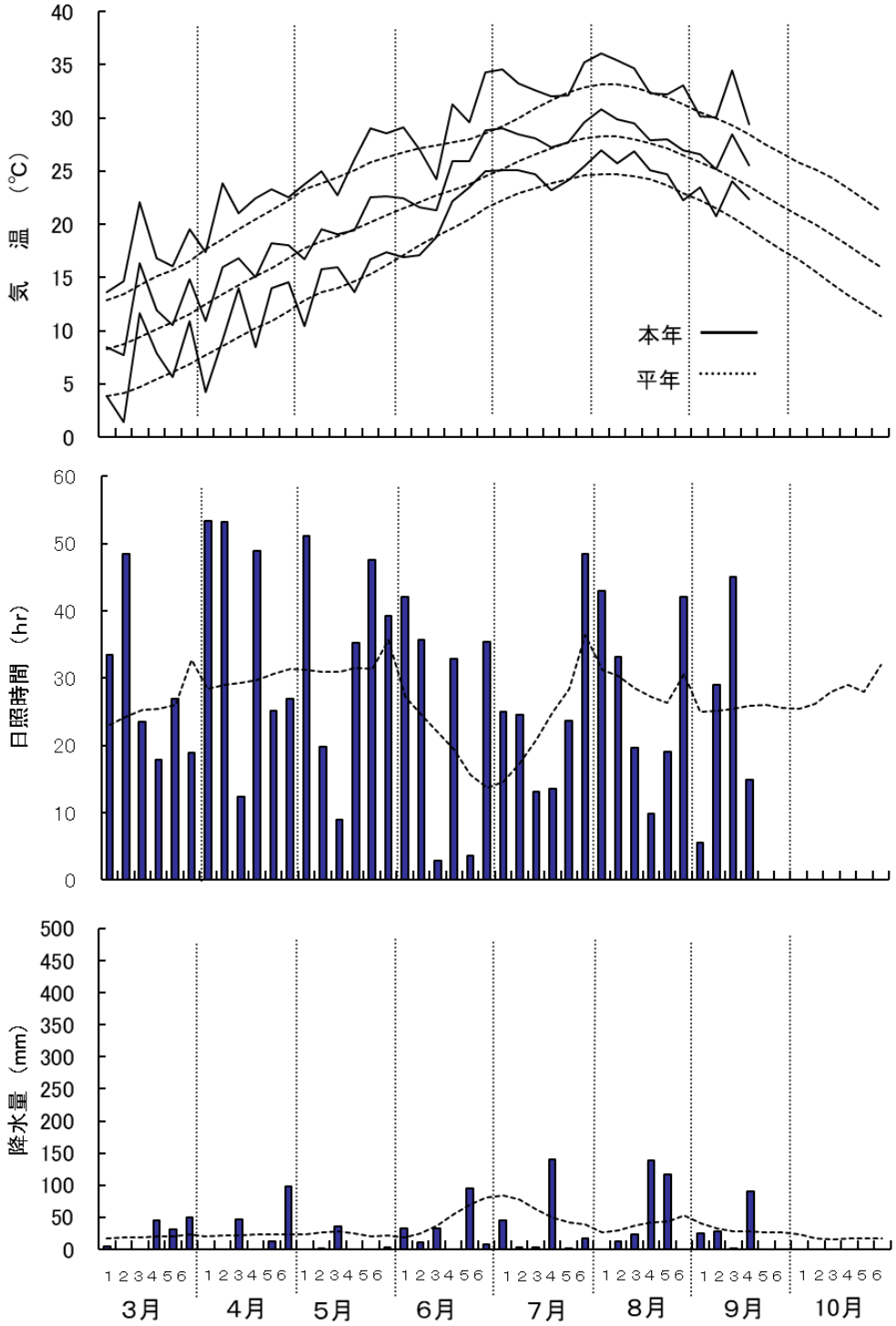
３．農林業総合試験場農産部における調査成績（９月 20 日調査）

品種	播種期	年　次	苗立歩合	開花期	主茎長	主茎節数	莢数	地上部乾物重	倒伏程度
	月.日		%	月.日	cm	節	/㎡	g/㎡	
フクユタカ	7.11	本　　年	91.4	8.21	69	14.8	1205	674	中
	(7.12)	前年比(差)	−5.4	−2	105	＋0.7	113	132	多
	(7.10)	平年比(差)	−3.2	＋2	100	−0.7	92	106	−
	7.26	本　　年	65.6	9.1	53	12.1	792	443	中～多
	(7.26)	前年比(差)	−11.7	−3	114	−0.1	151	224	少
	(7.24)	平年比(差)	−19.7	＋2	92	−1.2	92	104	−
ちくしB5号	7.11	本　　年	87.8	8.22	66	14.8	1211	770	少
	7.26	本　　年	68.0	9.2	51	12.3	941	544	少～中

注 1)平年値は平成 23 年～令和元年、令和３年の 10 か年平均値。
2)播種密度は、７月 11 日播：70×20cm(7.1 株/㎡、2 本立)、７月 26 日播：70×15cm(9.5 株/㎡、2 本立)。
3)この数値は暫定値で、今後変更することがある。

４．今後の対策

ハスモンヨトウやカメムシ類の発生状況に注意し、発生が多い場合は適宜、防除を実施する。排水口の再整備や枕地作溝を行い、降雨によりほ場内に停滞水が生じないようにする。雑草の発生が多い圃場では、特に大型雑草の抜き取り等を行い、収穫時の汚損粒発生防止に努める。



2022 年夏作期間の気象（太宰府アメダス）